

環境レポート

第03号

(運用期間:2023年 8月1日～2024年7月31日)



発行日 : 2024年 9月 17日

有限会社石川メンテナンス

目 次

I.	組織の概要		1
II.	環境経営方針		2
III.	実施体制		3
IV.	環境経営目標		4
V.	環境経営計画		5
VI.	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無		6
VII.	環境経営目標の実績・取組結果並びに 次年度の環境経営目標		7
VIII.	環境経営計画の取組結果と評価、次年度の環境経営計画		8
IX.	当社の取組み		9
X.	代表者により全体の評価と見直し・指示		11
XI.	環境上の緊急対策		12
XII.	環境コミュニケーション受付表		13
XIII.	是正処置確認報告書		14

I.組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

有限会社 石川メンテナンス
代表取締役社長 石川 桂三

2. 所在地

〒418-0022 静岡県富士宮市小泉1801-18
TEL 0544-27-5117 FAX 0544-23-8450
E-mail imc-ishikawa@po2.across.or.jp URL <http://imc-ishikawa.com>

3. 環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者	清水 光太	連絡先	所在地に同じ
事務担当者	石川(智)		

4. 事業の概要

浄化槽保守点検、排水処理設備点検、貯水槽清掃、給水設備管理

冷却塔清掃、空気環境測定、衛生害虫防除、水処理薬品の販売

5. 企業概要

設立 1989年 1月
資本金 600万円
従業員数 6名(2021年10月現在)

6. 事業年度 毎年 8月1日～翌年7月31日

7. レポートの運用期間及び発行日

環境経営レポートの運用期間(2023年 8月 1日～2024年 7月 31日)
環境経営レポートの発行日(2024年 8月 19日)

8. 対象範囲

全組織・全活動

9. 許認可一覧

浄化槽管理業務:登録番号(6) 第432号
貯水槽清掃業務:静岡県16貯第6号
空気環境測定業務:静岡県4空第6号

Ⅱ.環境経営方針

[環境理念]

「水環境を守る」

事業活動に伴って排出される様々な水。

環境保全事業に携わる弊社は排出水の環境への負荷の低減を業務とし、川や湖沼への排出水の水質向上、改善に貢献していきます。

多様化する環境管理の中、お客様から信頼されるパートナーとして、日夜、社員の総力を結集し地域の環境問題に役立つ企業を目標として、環境に関連する各種事業に取り組んでまいります。

[基本方針]

当社は環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的な環境経営を展開します。

1. 環境関連法規制等の遵守
各種の事業活動における環境関連法令を遵守します。
2. 事業活動において環境に与える負荷を削減する為、下記に示す取り組みをします。
 - 1) 電気、ガソリン等の使用量削減に努めます。
アイドリングストップ等、省エネルギー活動の推進。
 - 2) 水資源を守る為、使用量の削減に努めます。
節水を心掛け、水使用の削減に努めます。
 - 3) 廃棄物の削減、リサイクル推進を実施します。
事業所にて排出される廃棄物を削減し、リサイクル可能なものは積極的に実施する。
 - 4) 化学物質の適正使用、適正管理に努めます。
工業薬品の保管、管理を定期的に確認し、漏洩事故が発生しないよう徹底する。
 - 5) グリーン購入。
環境に配慮した物品の購入に取り組み、環境保全への意義を高め、全社への波及を促す。
3. 環境コミュニケーションの実施
 - 1) 社外に環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます
 - 2) 年1回以上、全従業員に環境についての教育を実施し、環境経営方針を周知し、全社員参画による取組を目指します
 - 3) 周囲の美化活動を実施します。
4. 環境経営の継続的改善
顧客との環境コミュニケーション推進するなど顧客満足度の向上等を図り、環境経営の継続的改善を実施します。

制定年月日

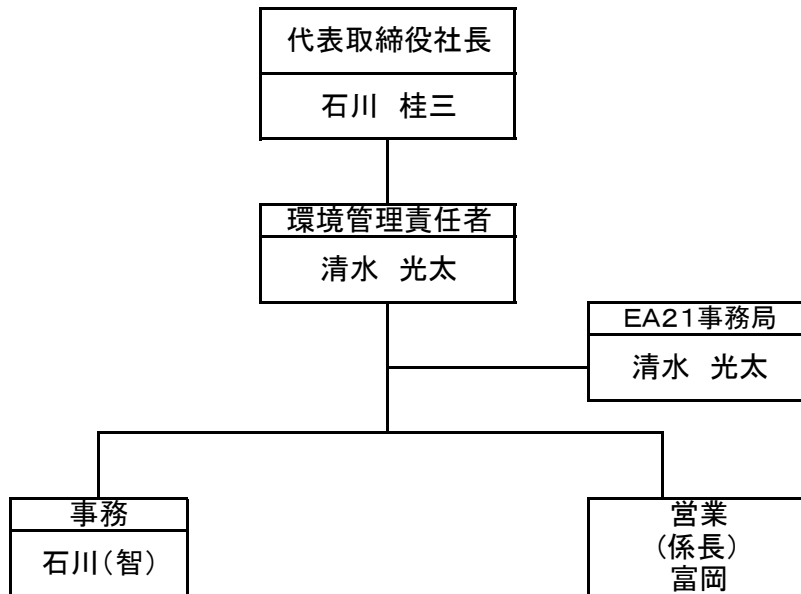
2021年10月1日

有限会社 石川メンテナンス
代表取締役社長 石川 桂三

Ⅲ.実施体制

作成日 2023年8月1日
作成者 清水 光太

対象範囲:全組織・全活動



<関係者の権限と役割>

社長

- ① 環境経営全般に関する責任と権限
- ② 環境経営方針の制定及び改定
- ③ 環境経営に必要な資源の準備
- ④ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
- ⑤ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ⑥ 効率的な実施体制の構築と全従業員への周知

環境管理責任者

- ① 環境経営システム全般の運用・管理
- ② 環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③ 取組状況の社長への報告
- ④ 環境経営レポートの作成

EA21事務局

- ① 環境負荷データ等の集計
- ② 環境経営目標・環境経営計画の進行管理
- ③ 「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
- ④ 環境関連法規等の遵守状況チェック
- ⑤ 環境上の緊急事態の想定と対応策の作成。全体での試行、訓練の実施
- ⑥ 文書・記録の管理

各部門

- ① 部門の環境経営計画の実施
- ② 部門データの集計
- ③ 部門の問題点把握と是正対策の実施
- ④ 部門取組状況の事務局への報告

その他の従業員

- ① 自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する

IV. 環境経営目標

1. 運用期間(2023年8月～2024年7月)の環境目標

項目		単位	基準期間	運用期間	
			2021年8月 ～ 2022年7月	2023年8月 ～ 2024年7月	
			基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	17,710.21	-0.5%	17,621.45
内訳	電力	kWh	5,584.00	-1.0%	5,528.16
	ガソリン	L	6,538.57	-0.5%	65,058.88
	軽油	L	不使用	-	不使用
	灯油	L	不使用	-	不使用
	プロパンガス	kg	不使用	-	不使用
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	240	-1.0%	238
水使用量		m ³	42	-1.0%	41.00
化学物質使用量		—	適正管理	-	適正管理
環境配慮型製品の提案		件	-	-	積極告知
顧客満足度の向上		%	-	-	クレーム0

＜備考＞

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)－2019年度実績－2021.1.7環境省・経済産業省公表の中部電力㈱の調整後の排出係数である0.452(kg-CO₂/kWh)を使用した。

2. 中長期の環境目標

項目		単位	基準年度	目標年度			
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			2021年8月	2022年8月	2023年8月	2024年8月	2025年8月
			～ 2022年7月	～ 2023年7月	～ 2024年7月	～ 2025年7月	～ 2026年7月
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	17,710.21	17,533.11	17621.45	-0.5%	-1%
内訳	電力	kWh	5,584.00	5,528.16	5528.16	-1%	-1%
	ガソリン	L	6,538.57	6,473.18	65058.88	0	-1%
	軽油	L	不使用	不使用	不使用	-	-
	灯油	L	不使用	不使用	不使用	-	-
	プロパンガス	kg	不使用	不使用	不使用	-	-
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	240	235	238	18Kg/1月	18Kg/1月
水使用量		m ³	42	42	41	-1%	-1%
化学物質使用量		—	適正管理	適切な管理・使用			
環境配慮型製品の提案		件	—	現状把握	積極告知	積極告知	積極告知
環境経営の継続的改善(顧客満足度の向上)		%	—	現状把握	クレーム0	クレーム0	クレーム0

＜備考＞

- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)－2019年度実績－2021.1.7 環境省・経済産業省公表の中部電力㈱の調整後の排出係数である0.452(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- 「一般廃棄物排出量」は過去実績がないため、2022年度に現状把握を行い、2023年度から数値目標を設定する。
- 「化学物質使用量」の削減目標はPRTR法該当物質が無く、且つ使用量が非常に少ないこと、及び顧客の指定があり代替化が困難なため維持管理とする。
- 「環境配慮型製品の販売」は、2022年度に現状把握を行い、2023年度から数値目標を設定する。
- 「環境経営の継続的改善(顧客満足度の向上)」は、2022年度に現状把握を行い、2023年度から数値目標を設定する。

V. 環境経営計画

(運用期間:2023年8月～2024年7月)

[illegible]

VI. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規等の遵守状況 当社に適用される環境関連法規

過去3年において違反や訴訟等ありませんでした。

評価日 2024年 7月 31日
評価者 環境管理責任者 清水 光太

法規	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守結果
浄化槽法	環境省で定める回数の保守点検、清掃、法定検査の周知・徹底	遵守	○
静岡県浄化槽保守点検業者登録条例(第2条第1項)	静岡県知事許可及び更新手続の遵守	浄化槽管理士講習の受講(新規と更新)	○
静岡県浄化槽保守点検業者登録条例(第9条第5項)	浄化槽管理士による保守点検業務の実施	管理士もしくは管理士立会いのもと、点検実施	○
静岡県浄化槽保守点検業者登録条例(第11条)	浄化槽管理台帳の整備	管理台帳内容の再確認と整備を実施	○
水質汚濁防止法	静岡県条例で定める排水基準の周知・徹底	定期的な客先の排水水質検査実施	○
建築物飲料水貯水槽清掃に関する条例	静岡県条例で定める建築物における衛生的環境の確保	定期的な客先の排水水質検査実施	○
毒物及び劇物取締法	外部からの委託作業での運搬時に、毒劇物該当薬品の確認	冷却塔薬品メーカーよりSDS入手	○
	SDSの社内表示と外部への提供	社内保管庫へのSDS再掲示。	○
労働安全衛生規則等	化学物質管理者及び保護具着用管理責任者の新設	令和6年4月より義務化に対応済み。	○
フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)	自身での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施	点検及びフィルター清掃実施	○
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物の減量・分別の徹底	プラゴミ、可燃物の分別開始(2024.4～)	○
廃棄物処理法	顧客より発生した産業廃棄物の内、リサイクル可能なもののみ活用	客先引上げ品を修理して、リユース。	-
家電リサイクル法	廃棄時に引き渡し業者への引き渡し	該当なし	-
自動車リサイクル法	廃車時に取引業者への引き渡し	該当なし	-
リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時の適正廃棄	該当なし	-
地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの把握	EA21にて対応	○

VII.環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

①運用期間(2023年8月～2024年7月)の環境目標の実績

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2021年8月 ～ 2022年7月	2023年8月 ～ 2024年7月				
				基準値	目標削減率	目標値	実績値	実績削減率
二酸化炭素排出量		kg-CO2	17,710	-0.5%	17,622	18,045	2.4%	×
内訳	電力	kWh	5,584	-1.0%	5,528	5,199	-6.9%	○
	ガソリン	L	6,539	-0.5%	6,506	6,758	3.3%	×
	軽油	L	不使用	-	不使用	-	-	-
	灯油	L	不使用	-	不使用	-	-	-
	プロパンガス(LPG)	kg	不使用	-	不使用	-	-	-
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	240	-1.0%	238	232	-3.3%	○
水使用量		m³	42	-1.0%	41	45	7.1%	×
化学物質使用量		kg	適正管理		適正管理	適正管理	-	-
環境に配慮した製品の提案		件	—		積極告知	積極告知	3社	-
環境経営の継続的改善(顧客満足度の向上)		%	—		クレーム0		クレーム0	

<評価>

CO2	原因	ガソリン使用量が主原因。
	是正	
ガソリン	原因	仕事量の増加による移動距離増(売上前年比108.9%)。及び猛暑によるエアコン使用の増加。
	是正	アイドリングストップや相乗りの励行は継続するが、業績に連動している部分はやむを得ないとの判断。
電力	原因	エアコンの入替え、充電器具のこまめな電源切りなど、毎月コンスタントに使用量を減らせた。
	是正	節電意識を今後も継続して取り組む。

②次年度の環境経営目標

- ・電力は2021年度実績に対し2022年度-6%達成、更に2023年度で-6%としており、削減目標を引き下げる。
- ・ガソリンは、今後も業務量は増加予測の為、2023年度並みの水準を維持することを目標とする。

VIII.環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(運用期間:2023年8月～2024年7月)

環境活動項目			責任者	評価	コメント	今後の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	燃料	A unnecessaryアイドリングの禁止	富岡	○		継続実施
		B 1回／月車内整理の実施		○		継続実施
		C 急発進・急加速の禁止		○		継続実施
		D 効率的な作業ルートを選定		○		継続実施
		E オイル・タイヤ等の定期的な点検、交換		○		継続実施
		F 同方向は相乗りの励行		○		継続実施
		G 低冷房運転の励行		×	猛暑の熱中症対策として低冷房運転は実施できず。	継続実施
		H 法定速度の遵守		○		継続実施
	電気	A 空調フィルターの定期清掃(夏前、冬前 2回／年)	石川(智)	○		継続実施
		B エアコンの設定温度を夏季28℃、冬季20℃に設定		○		継続実施
		C 夜間、休日のPC、プリンター等の主電源オフ		○		継続実施
		D ブラインドやカーテンの利用による室内温度の調整		○		継続実施
水使用量削減	A 日常的な節水の励行	清水(光)	○		継続実施	
	B 水道使用量異常数値の際に、漏水点検		○		継続実施	
	C 水使用状況の確認		○		継続実施	
廃棄物の削減・リサイクルの推進	A 社内資料のコピー用紙の両面使用	石川(智)	○		継続実施	
	B 文書の電子化		○		継続実施	
	C ゴミの分別(金属・アルミ缶・プラスチック・PET)		○		継続実施	
	D インクカートリッジの回収		○		継続実施	
	E 印刷・コピーミスの削減(印刷前の設定確認とリセット)		○		継続実施	
	F 使用済み封筒の再利用		○		継続実施	
グリーン購入	A 社内備品のエコ製品の優先購入	石川(智)	○		継続実施	
化学物質	A 使用化学物質のSDS入手	清水(洋)	○		継続実施	
	B 保管状況の管理(PAC、苛性ソーダ、高分子凝集剤、チオ硫酸ナトリウム、消泡剤、次亜塩素酸ナトリウム)		○		継続実施	
	C 在庫の適正管理		○		継続実施	
法規制遵守	A 業務関連法規の社内周知	富岡	○	2024/1浄化槽関連法規勉強会	継続実施	
	B 遵守状況の確認		○		継続実施	
	C 浄化槽設置者への指導(定期点検・清掃・法定点検)		○		継続実施	
	D 貯水槽設置者への指導(年1回以上の清掃・水質検査)		○		継続実施	
環境コミュニケーション	A 社外への環境経営レポートの公開	清水(光)	○		継続実施	
	B 顧客への会社案内周知		○		継続実施	
	C 年1回以上の環境に関する社内教育実施		○	ベアリング・コンデンサー・モーター勉強会(12月・省エネ)/IPM	継続実施	
	D 会社周辺の美化活動の実施		○		継続実施	
環境配慮型製品の販売	A 浄化槽機能促進のためのバクテリア剤の積極販売	清水(光)	○		継続実施	
	B 顧客に環境配慮型商品の情報を積極的に提供		○		継続実施	
環境経営の継続的改善(顧客満足度の向上)	A 顧客との環境コミュニケーション推進します。	富岡	○	省エネ商材の提案	継続実施	

○…達成

△…意識は上がっているが未達成

×…未達成。コメント参照。

当社の取組み

ゴミの分別の継続実施



PETボトルキャップの回収



エコキャップ運動に取り組んでいる取引先へ

省エネ商材の導入



X.代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 2024年 9月 17日

1・見直し関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	■	
	2	環境経営目標及び目標達成状況	■	全体的な目標達成には至らなかったが、電気目標は達成。
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	■	富士宮市によるプラゴミの分別も始まり、意識的には取り組めた。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	■	
	5	外部コミュニケーション・対応記録	■	
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	■	
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	■	
	8	その他(外部への対応)	■	選択的に取引先への商材提案を実施。

2・代表者による全体評価・見直し指示	本年度は15テーマにわたり、私の主催勉強会を実施してまいりました。環境に対し間接的に影響する事も含まれております。要は浄化槽や排水処理設備が適正に運用される為に必要な内容です。具体的なCO2削減という目標が達成しにくい状況でも、環境負荷を抑える仕事を行っているという事は認識できたと考えております。EA21に取り組み、3期が経過しました。環境に対する意識は少しずつ上がってはきていますが、EA21として取り組むメリットが感じられないという声も社内では出ています。今後の取り組みについて再検討する必要があると考えております。 2024年 9月 17日 有限会社石川メンテナンス 代表取締役 石川 桂三			
	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・ ☒ 無	
	2	環境経営目標	☒ 有・無	単純に削減目標とせず、業務量に準じた目標設定が必要。
	3	環境経営計画	有・ ☒ 無	
	4	環境に関する組織(実施体制含め)	☒ 有・無	EA21継続の必要性を検討。
	5	その他のシステム要素	有・ ☒ 無	
	6	その他(外部への対応)	有・ ☒ 無	

XI.環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

作成日:2024年 8月 9日
作成者:清水 光太

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン1	浄化槽の不具合による、汚染された処理水の河川放出。	曝気不良(風量不足又は過多)や滅菌剤不足。	日常点検で回避できる事が多く、溶存酸素や遊離残留塩素の意味等をきちんと理解するための勉強会実施。
パターン2			

訓練記録

※自社による不具合、緊急事態発生時の対応訓練が出来ておらず
次年度は事故対応の訓練をテーマとする。

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
R6.3			残留塩素勉強会
参加者		全社員	
※評価と改善策			
※検証結果			

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
R6.5			溶存酸素勉強会
参加者		全社員	
※評価と改善策			
※検証結果			

Ⅻ.環境コミュニケーション受付表

実施期間中、案件無し

作成・管理担当: 清水 光太

NO.	情報入手日	情報種類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容 (再発防止策)
					連絡先			
1	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要 ・ 不要	
2	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要 ・ 不要	
3	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要 ・ 不要	
4	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要 ・ 不要	
5	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要 ・ 不要	
6	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要 ・ 不要	
7	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要 ・ 不要	
8	／	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ()			必要 ・ 不要	

No. _____

作成者: 清水 光太

実施期間中案件無し

13. 是正処置確認報告書

発生日 _____ 年 ____ 月 ____ 日

<問題点> (何が? ~どうなっている! ~) C/

該当なし

<原因> (なぜ? ~) A/

是正処置の必要性の有無 (有 ・ 無)

<是正計画> (何を? ~誰が? ~何時までに? ~どうする~) P/D/

<結果確認> (どの様に改善された~問題点は解決したか? ~ C/A/P/ (予防処置は

確認日

年 ____ 月 ____ 日

確認者

有限会社石川メンテナンス